

ダイワへらマスターズ2014 関東B地区大会結果

開催日：2014年10月18日(土曜日)

開催場所：野田幸手園(千葉県)

大会使用棧橋：予選：もみじ・竹棧橋

決定戦：竹棧橋

天候：晴れ

気温：20度

参加人数：103名(決定戦シード選手2名含む)



釣況：前日は、西風が強かったが魚の活性が高く、試釣では、好釣果がでていた。大会当日は、風もなく絶好の釣り日和と思われた。しかし、魚の寄りが悪く、選手たちはアタリを出すのに苦戦していた。野田幸手園は、日頃から魚影が濃く、大勢入場しても喰いが下がりず良い釣りができる釣り場であるが、当日の朝、気温8度という極端な冷え込みが影響したのではないかとと思われる。予選は、短竿でチョウチンのセットや浅ダナのセットが大半をしめ、結果は、若干、浅ダナが有利であった。決定戦は、予選の状況そのままに浅ダナが先攻し、チョウチンの選手は、型が良いものの数が伸びなかった。

これから、野田幸手園は、大量の新べら放流が行われるので今後も楽しい釣りが期待できるでしょう。

★マークは全国決勝大会進出者です。

総合順位	氏名	決定戦			予選			住所	所属クラブ
		グループ	グループ 順位	重量	グループ	グループ 順位	重量		
★1	古澤 修実	B	1	11.00	P	1	18.55	埼玉県八潮市	トップスタークラブ
★2	関 成市	A	1	10.60	U	2	11.20	茨城県坂東市	日研岩井
★3	茂木 昇一	B	2	10.05	S	1	12.40	埼玉県さいたま市	トップスタークラブ
★4	鈴木 桂太郎	A	2	7.65	M	1	8.70	埼玉県川口市	
5	岩本 弘	B	3	9.00	R	2	10.30	茨城県常総市	常総へら鮎研究会
6	太田 武敏	A	3	6.85	H	1	12.60	茨城県猿島郡	セットマスタークラブ
7	田邊 忠史	B	4	7.80	T	1	11.70	埼玉県北葛飾郡	神扇池ワークスチーム
8	天野 英教	A	4	6.80	H	2	11.40	千葉県野田市	ホワイトエンジェルズ
9	遠藤 裕康	B	5	7.60	I	1	14.65	埼玉県川口市	トップスタークラブ
10	大石 和彦	A	5	5.65	J	1	12.50	東京都板橋区	ゴールデンクラブ
11	新井 毅	B	6	6.10	G	1	8.65	千葉県松戸市	フィッシングクラブ匠会
12	高橋 克彦	A	6	5.60	R	1	13.80	神奈川県横浜市	サンデーマスターズ
13	成田 和史	B	7	6.05	F	2	9.35	千葉県印西市	
14	久保田 健	A	7	5.20	N	1	12.45	茨城県東茨城郡	
15	奥村 達明	B	8	6.05	V	1	10.95	埼玉県川越市	
16	中嶋 伸吾	A	8	4.40	D	2	9.35	東京都調布市	
17	文 基太	B	9	5.55	シード	-	-		春夏秋冬
18	佐賀 真一	A	9	4.10	P	2	9.35	東京都足立区	フォーラム侠
19	小口 武	B	10	5.30	O	1	14.80	茨城県猿島郡	
20	清丸 勝正	A	10	3.95	A	2	10.45	千葉県柏市	
21	水内 順	B	11	4.75	A	1	10.50	神奈川県川崎市	サンデーマスターズ
22	李 庸昱	A	11	3.95	シード	-	-		GOLDEN
23	安田 克巳	B	12	3.90	I	2	13.48	栃木県小山市	CLUB KYOKUSUI
24	関亦 雅広	A	12	3.55	K	1	10.75	栃木県真岡市	
25	増田 行夫	B	13	3.70	D	1	12.25	群馬県館林市	フリーダム
26	塚田 幸二	A	13	3.25	E	2	9.55	茨城県古河市	フリーダム
27	鈴木 俊夫	A	14	3.00	Q	1	9.50	千葉県柏市	
28	宮 利恵子	B	14	2.35	E	1	10.45	群馬県伊勢崎市	フリーダム
29	平田 肇	A	15	2.25	C	1	13.10	千葉県市川市	第一ヘラブナ研究会
30	椎名 完太郎	B	15	2.15	L	1	7.30	群馬県邑楽郡	フリーダム
31	北尾 裕司	A	16	2.15	U	1	11.25	茨城県古河市	フリーダム
32	國分 進	B	16	1.85	F	1	9.75	茨城県つくばみらい市	トップスター
33	杉本 和也	A	17	2.00	B	1	8.65	茨城県牛久市	

※敬称略

※コンピュータの表示のため、旧漢字等を修正させていただくことがあります。ご了承ください。

◆順位決定方法(大会規定に基づき下記基準にて順位を決定しました)

※検量重量はフラシ2枚目以降のフラシ重量(1.4kg)を差し引いた合計重量にて算出しました。

※決定戦の進出人数は、予選参加者の30%(切り上げ)で31名です。A~V各グループの1位22名と2位の横取り方式で上位9名にシード選手の2名を加え、33名にて決定戦を行いました。

※決定戦はA・Bグループの順位別横取り方式にて総合順位を決定しました。

※同尾数同重量の選手は大会規定により同ワッペン番号の小さい選手が上位となります。